

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田壽夫(文、写真)、倉谷邦雄(写真)、山 國(写真)

日 時：2018(平成 30)年 3 月 1 日(木) 9:30～15:30

気 象：天候=晴 (12 時の気温：7～8℃)、終日の強風

活動エリア：45 林班ろ-03

活動内容：「45 林班ろ-03」の人工林で枝打ち、並びに林床整備

参加者：石原順子、斧田一陽、倉谷邦雄、後藤和子、薦田佳一、杉本佳英、武田壽夫、宮本 廣、山 國

(計 9 名)

<風を避けて・・・>

雪を見た前回活動日から 10 日、未明から強風が吹き始め終日風が激しく渡る音が続く。作業小屋への途中、アスファルト敷きの自然歩道上には新しい落枝が散乱。途中、府有林の斜面に鹿を目撃(素早いので写真は撮れず)。

何せ、この風の強さ。風速は常時 5m/sec 内外はあったのかも……。これでは枯損木等は思わぬ時に、思わぬ方向に折れ倒れ兼ねない。そこで今日は尾根でなく風が少ない谷間の活動とし、枯損木や立木には手を付けないことにする。向かうは「45 林班ろ-03」の西斜面、一帯は人工林で枯枝、切り倒し放しの木々が多く残っている。小屋からは 100m 以上低い場所なので、帰りの登りの足は重くなるが、打ち合わせを済ませ、高枝切り鋸と用具ザック等を担いで出発。

伝達事項 2 点

- ① 大阪さとり地域協議会への 29 年度交付金申請は手続き済み
(対象期間は H29.6.6～H30.2.8、H30 年度は 4 月から翌 2 月になりそう)
- ② 箕面森林管理事務所へは山岳会関西支部長名の活動報告を提出済み

<今日の成果は・・・>

枯枝打ちと残置木の整理が今日の作業、枝打ちに 2 人、林床整備は残る 7 人で上手と下手の二組に別れ作業開始。幸い、晴天に恵まれ 50m×200m の範囲を整備。捗ったようだが、まだまだ未了エリアを残している(先が楽しみ?)。

<春はどこまで？>

残念ながら、広葉樹の芽吹きは小さくヤマザクラの蕾も硬い。そこで、写真は「春の小川」の一枚。

And

折り良く郡上八幡在住の会員(本稿の HP 掲載の労をとって頂いている)からは梅の便り、まさに「早春」の一枚。

(本文 以上)

【小屋へ一道は落枝が目立つ】



【朝の集合写真－薦田氏は「お久しぶり」】



【枝打ち済みの斜面を下る-前方に残置木】



【枝打ち未了の人工林一幹に枯枝が目立つ】



【一面が足の踏み場のない「散乱」状態】⇒⇒⇒



⇒⇒ 【手を入れるとこの通り】



【作業風景—ズリ落ち易い足下】



【作業風景—こんな「格闘」の連続】



【柵積み後（斜面に整理した状態）】



【柵積み後（作業道の路肩に整理した状態）】



【溪流部近くの斜面—作業後】



【溪流沿いの作業道—路肩は柵積み材】



【弁当時間】



【重い薙刀を抱え上げての枝打ち作業】



【枝打ちの二人組】



【枝打ち後の幹は「スツキリ」】



【溪流のせせらぎ】



【美濃の梅(撮影：井上会員)】

